

科目名	財政学B Public Finance B						
科目担当者	萩原 駿史 HAGIHARA Toshifumi						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目] 法学部・法律学科 [専門教育科目 関連科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>財政学Bでは、政府の経済活動のあり方を分析する財政学をテーマとして取り上げて解説していきます。</p> <p>政府の活動は、租税の徴収、公共サービスの提供、所得再分配政策、経済政策など多岐にわたり、人々の日常生活にも大きな影響を与えています。政府がなぜこのような経済活動を行う必要があるのか、どのように行うべきか、人々の経済活動にどのような影響を及ぼすのか、などを経済学に基づいて解説します。</p> <p>授業では、テキストを用いて、板書を中心に進めていきます。</p>						
授業の到達目標	<p>① 所得再分配の意義を説明できるようになる。</p> <p>② 公債の役割と影響を説明できるようになる。</p> <p>③ 社会保障の意義を説明できるようになる。</p> <p>④ 地方財政の役割と仕組みを説明できるようになる。</p>						
授業計画・内容	1	授業の進め方					
	2	所得分配（1）なぜ所得再分配が必要か					
	3	所得分配（2）社会的厚生関数					
	4	所得分配（3）保険としての所得再分配					
	5	公債（1）公債とは					
	6	公債（2）リカードの等価定理					
	7	公債（3）パローの中立命題					
	8	公債（4）中立命題の現実性					
	9	社会保障（1）社会保障とは何か					
	10	社会保障（2）公的年金制度					
	11	社会保障（3）公的年金の経済モデル					
	12	地方財政（1）地方財政の役割					
	13	地方財政（2）地方の行政範囲					
	14	地方財政（3）地方の財政					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	テキストの該当箇所を熟読し、自分で分かる箇所と分からない箇所を区別できるようにしておいてください。また分からない箇所については、自分で可能な範囲で調べた上で、講義で質問できるように準備をしておいてください。（毎週2時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	講義で学んだことを振り返り、疑問点が解消したかを確認しながら理解を深めてください。（毎週2時間程度）						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	定期試験				100%	①, ②, ③, ④	
成績評価基準	<p>秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	小塩隆士『コア・テキスト 財政学（第2版）』（新世社，2016）						
参考文献	畑農鋭矢，林正義，吉田浩『財政学をつかむ(新版)』（有斐閣，2015）						
その他	財政学Aを併せて受講することが望ましいです。						